

リパーゼキットS [研究用]

リパーゼ (lipase) は、脂質のエステル結合を脂肪酸とグリセロールに加水分解する酵素です。動物では食物から摂取された脂質の消化に、膵臓から分泌されたリパーゼが腸管内で重要な働きをしています。

リパーゼキットS [研究用] は、膵リパーゼと反応性の高い基質であるS-アシル化合物 (BALB) を用い、これにSH基測定用試薬 (DTNB) を組み合わせた酵素測定法の原理に基づくリパーゼ活性測定用キットです。

【特長】

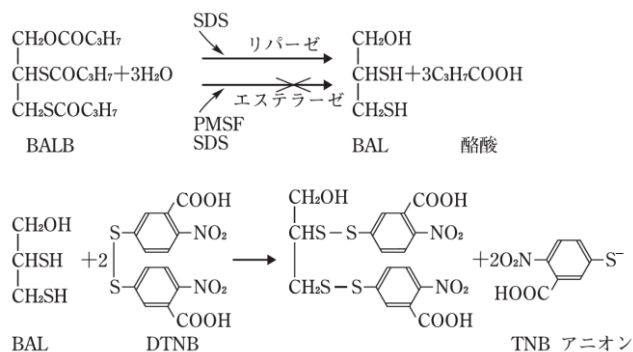
- エステラーゼ阻害剤により、リパーゼのみを特異的に測定可能
- 試料と試薬を混合し、吸光度測定を行うだけの簡単操作。煩雑な操作は不要
- 生化学自動分析装置等は不要
- 血清、血漿その他生物学的試料に適用可能



【キット構成 (100回分)】

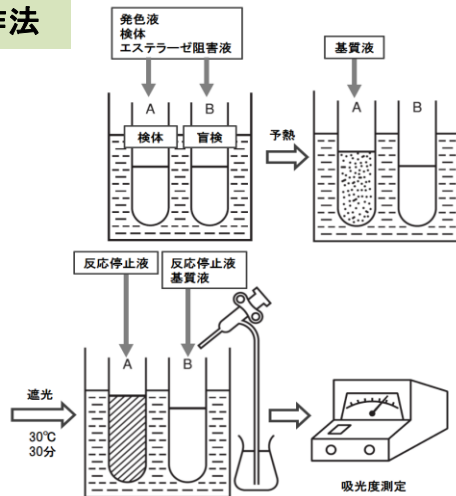
- 基質液 (BALB, SDS) 1本 (22mL)
- エステラーゼ阻害液 (PMSF) 1本 (4.4mL)
- 発色剤 (DTNB) 1本 (240mg)
- 緩衝液 1本 (25mL)
- 反応停止原液 1本 (25mL)

【測定原理 (反応式)】



BAL: ジメルカプロール
 BALB: 三酪酸ジメルカプロール
 DTNB: 5,5'-ジチオビス(2-ニトロ安息香酸)
 PMSF: フェニルメチルスルホニルフルオリド
 SDS: ドデシル硫酸ナトリウム
 TNB: 5-チオ-2-ニトロ安息香酸

操作法



基質(BALB), SDS, エステラーゼ阻害剤(PMSF)を検体に加えて、PMSFとSDSで検体中のリパーゼ以外のエステラーゼを失活させると同時にSDSによって検体中のリパーゼを活性化。活性化されたリパーゼはBALBを水解してジメルカプロール(BAL)を生成。生成したBALはDTNBと定量的に反応し黄色の5-チオ-2-ニトロ安息香酸(TNB)アニオンを生成。反応停止液の添加によりリパーゼの反応を停止、呈色の強さ(吸光度)からリパーゼ活性を算出。

【製品情報】

輸送・保存条件: 冷蔵(2~8℃), 遮光 有効期間: 3年

品番	品名	用途	内容量	参考価格(税別)
BS-92101	リパーゼキットS [研究用]	血清、血漿その他生物学的試料のリパーゼ活性測定	100テスト	35,000円

住友ベークライト株式会社

S-バイオ事業部 マーケティング・営業部

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル

【東日本エリア】TEL: 03-5462-4831 FAX: 03-5462-4835

【西日本エリア】TEL: 06-7669-0031 FAX: 06-7223-8691

■ E-mail: s-bio_inquiry@ml.sumibe.co.jp

■ URL: http://www.sumibe.co.jp

【販売店】